

幼児期の終わりまでに  
育ってほしい姿



福島市  
法政大 教  
みその幼稚園理事長・園長  
財団法人 福島県幼児教育振興財団  
理事・広報委員会委員長  
細谷 實

何時の時代の親も、  
我が子が自立できる人  
間になつてほしいとの願  
いは不変だと思えます。  
今、幼稚園等に通う子  
ども達が巣立つ未来は  
どんな社会でしょうか。  
私が子ども時代に両  
親はじめ大人達が営ん

も達の65%が未知の職  
業に就くと予測されて  
おり、ある意味、自立  
し己で飯を喰うことが  
今より難しくなるかも  
しれません。  
それ故、幼稚園では  
新未来を生き抜く力を  
培うため「幼児期の終  
わりまでに育ってほしい  
10の姿」を示し、保育  
者はそれらを子ども  
成長を見る時の視点と  
して捉えながら日々の  
保育・教育を行って  
います。そして、その中  
で自立(律)心を持ち、  
主体的な言動ができる  
ための資質と能力の  
根っこを育んでいます。  
また、子どもの成長  
を見る視点は幼稚園と  
家庭(親)が連携して  
同視点で見えて捉えるこ  
とが大切です。是非、  
我が子が通う園と共に  
10の姿について話し合  
い、理解を深めながら  
子どもの成長を共に喜  
んでほしいと思います。  
お父さん・お母さん、  
親としてポイントと生きて  
いませんか？

うつくしま 教育と子育ての森づくり  
一般財団法人 福島県幼児教育振興財団  
理事長 岩城 光英  
事務局/福島市飯坂町平野字東原4-10  
TEL024-542-9321 FAX024-542-9319

